

SEP  
21

YMCCA  みつかる。  
つながる。  
よくなっていく。



## 2025年度 YMCAせとうち 野外活動友の会 小学生セクション9月例会のご報告

参加者：57名、スタッフ：3名、ボランティアリーダー：17名



夏休みが明け、久しぶりの野外活動となりました。今月の活動は井原市にある天神峡で川遊びを行いました。連日夕立があり、前日にも雨予報が出ていたため、実施ができるか直前まで検討していましたが、幸いにも天候に恵まれ、予定どおり活動を行うことができました。

この日は平常時よりも少し水量が増えており、川の流れや水の勢いを感じながらの活動となりました。こどもたちはライフジャケットを着用し、リーダーの安全確認を受けてから川に入ります。膝より上の深さになると足を踏ん張るのも難しく、流れに体を預けるだけでもスリル満点です。ライフジャケットに身を任せてぷかぷかと浮かび、そのまま川を流れていく体験は、普段なかなかできない特別なもの。「ちょっと怖いけど、すごく楽しい！」と笑顔を見せながら、グループの友達と手をつないで流れる姿がとても印象的でした。



9月チーフ：ねぎちゃんリーダー

川遊びの合間には、川辺で魚を探したり、小石を積み上げて遊んだり、それぞれが自然の中で思い思いの楽しみ方を見つけていました。透き通った水の中で夢中になって遊ぶ子どもたちの姿からは、自然の豊かさを全身で感じ取っていることが伝わってきました。

【担当スタッフより】

連日の酷暑から一転、外遊びにぴったりの気候の中で、9月の活動を実施することができました。報告にもあるように、川の増水を心配していましたが、結果的には水の勢いや自然の力を実感できる、非常に良いコンディションとなりました。

近年、川遊びでの事故が毎年のように報告されています。その中で今回のように「水の勢いを体で感じる」と「ライフジャケットの着用による安全確保」を体験的に学べたことは大きな意味があります。「危ないから近づかない」のではなく、「安全を確保した上でリスクに向き合う」。これこそが野外活動の教育的価値だと考えています。

こうした活動は、理解をもって送り出してくださる保護者の皆さま、そして子どもたちに寄り添い一緒に楽しんでくれるリーダーたちの存在があってこそ成り立っています。今後も安全で楽しい体験を重ねながら、子どもたちと一緒に自然の中で学びを深めていきたいと思います。プログラムディレクター：難波（ホルモン）